

コース名		科目名			対象学年			
臨床医学		臨床実習 I			1			
開講学期		科目責任者		副責任者		全体資料		
通年		森谷 卓也				無		
授業到達目標								
1. 医療と福祉について考察することができる。 2. 福祉・介護の基本的事項を説明できる。 3. 福祉の現場における対人援助の基本的事項を理解し、指導者のもとで実践できる。 4. 実習内容を振り返り、次に繋げるよう努力することができる。 5. 与えられたテーマの中から問題点を抽出し考えることができる。 6. グループにおける討論を通じ、協力して同僚とともに学ぼうと努力することができる。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	6/10	月	7	講義	森谷	病理	旭川荘実習オリエンテーション	A-1-2), B-4-1)
2~7	6/20	木	1~6	実習	森谷	病理	学外：旭川荘実習（行動科学、地域との交流、倫理教育）	A-3-1), G
8~13	6/21	金	1~6	実習	森谷	病理	学外：旭川荘実習（反省会を含む）（行動科学、地域との交流、倫理教育）	A-3-1), G
14	9/ 6	金	7	講義	山田順	非常勤／医療短大	介護の基本～対人援助の作法～	A-3-1), A-5-1)-2 A-5-1)-3, A-5-1)-4
15~20	9/ 9	月	1~6	実習	森谷	病理	旭川荘における介護実習（オリエンテーションと参加型実習の導入）	A-5-1)-2, A-5-1)-3 A-5-1)-4
21~26	9/10	火	1~6	実習	森谷	病理	旭川荘における介護実習（参加型実習：介護・福祉の実践：初めての取り組み）	A-5-1)-2, A-5-1)-3 A-5-1)-4
27~32	9/11	水	1~6	実習	森谷	病理	旭川荘における介護実習（参加型実習：介護・福祉の実践：振り返りと新たな挑戦）	A-5-1)-2, A-5-1)-3 A-5-1)-4
33~38	9/12	木	1~6	実習	森谷	病理	旭川荘における介護実習（参加型実習：介護・福祉の実践：実習のまとめと課題抽出）	A-5-1)-2, A-5-1)-3 A-5-1)-4
39~41	9/13	金	1~3	演習	森谷	病理	旭川荘における介護実習：グループワーク（4日間の実習を通じて）	A-2-1)
42~44	9/13	金	4~6	演習	森谷	病理	旭川荘における介護実習：グループワーク発表会	A-5-1)
45~47	1/ 9	木	4~6	演習	森谷	病理	ワークショップ1（テーマに関する調査とグループ内討論、ポスター作成）（生涯学習、倫理教育）	A-1-1), A-9-1)
48~50	1/22	水	1~3	演習	森谷	病理	ワークショップ1（ポスター発表会、その後さらにテーマを絞ってプレゼンテーション資料作成）（生涯教育、倫理教育）	A-1-1), A-9-1)
51~53	1/28	火	1~3	演習	森谷	病理	ワークショップ1：発表会（学年全体）（生涯学習、倫理教育）	A-1-1), A-9-1)
評価方法								
[レポート]30% [実習点]50%（1学期実習10点、2学期介護実習30点、3学期演習10点を目安とする。） [プレゼンテーション]10% [出席状況（受講態度）]10% [評価方法]出席・受講態度評価、論文・レポート、プレゼンテーション評価、実習態度評価、その他								
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて								
レポートは閲覧後返却し、適宜コメントをつける。 グループ発表について評価し、優秀なグループを学生寮等に掲示する。								
教科書								
(特になし)								

参考書
ISBN-9784260015400, 学生のための医療概論 第3版増補版, 千代 豪昭(編集), 医学書院, 2012/01/27 ISBN-9784784944385, だから医学は面白い—幻(ビジョン)を追い続けた私の軌跡, 日野原重明, 日本医事新報社, 2014/09/02 ISBN-9784805828496, ゆずり葉のころ—私にとっての医療福祉, 江草 安彦, 中央法規出版, 2007/02/01 (他のコースの教科書、図書館、メディカル・ミュージアムの展示物)
準備学習(予習・復習等)
日頃から医学・医療に関する報道(新聞記事等)をチェックするよう、心がけよう。 各学期とも、実習後に関連する医学・医療の書籍を読んで復習しよう(復習には1時間程度を要する)。 他のコースで学んだ事柄を、このワークショップの議論に結びつけることができるよう、各人が強く意識して実習に臨むこと。 旭川荘実習は、予習として1学期にオリエンテーションを1時間、2学期の介護実習前に授業を1時間実施する。 各学期とも、別途、実習の手引きを配布する。
講義についての注意事項
1学期: 旭川荘は、障害のある方々の療育の場・生活の場であって、教育のための施設ではありません。特別のご配慮で見学させていただくので、身だしなみや態度も含め、謙虚な気持ちで、相手の立場を考えて、真摯に行動すること。似たような経験がある場合も、新たな経験や発見ができるよう、努力すること。2学期には実際に介護の現場に参加させていただく貴重な機会となるため、各自よく考えて、一生懸命取り組むこと。医師として生涯学び続ける姿勢を自覚しよう。 3学期: グループ内で、またはチューターに対して、自分の意見や疑問点を積極的に発言するように努力しよう。インターネットで得た情報はすべて鵜呑みにしないように注意しよう(出典・執筆者等が明らかでない記事は特に注意すること)。発表に際しては医学用語を正確に用いるようにしよう。聴衆を意識して、相手に理解してもらえるよう努力しよう。臨床実習Ⅰは全出席を原則とする。
昨年度からの変更点・改善項目
1学期の旭川荘実習では、事前のオリエンテーションにおける説明を強化することによって積極的な参加を心がけさせ、レポートにもそのことが反映されるよう指導する。 2学期の介護実習が新たに追加された。1学期は見学型実習、2学期は参加型実習である。 3学期の演習は、両者の目的を明らかにした上で参加させるよう、説明を行う。
学生の受け入れ方針や卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
本科目履修には入学時において全人的医療を志し思いやり深い者であることが望ましい。 医療人としてのコミュニケーション能力、プロフェッショナリズムを身につける過程の一つとして捉えている。 また、医の倫理観、チーム医療の実践についても強く意識させる。 本科目を通して病むことの意味を理解し、患者への高い共感性を育む。2年次に学ぶ臨床実習Ⅱ以降の履修のためにも必須の学問である。
ナンバリング
DCCC123